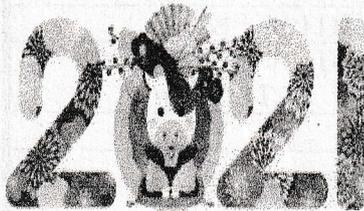


令和2年度 静岡市立宮竹小学校 学校だより

# 宮竹っ子

2月号 令和3年1月21日

## 第5ステージ スタート



令和3年1月6日から学校がスタートしました。今年の年末年始は、新型コロナウイルス感染症が心配されるという未だ経験の無い年末年始でした。そのために、本校では登校して来る子どもたちを受け入れる体制を万全に整えるため、いつもより1時間遅らせての登校にしました。さらに、子どもたちの健康を確認するために、前日メール配信をさせていただきました。皆様から返信されてきたメールは、心配になる返信は無く安心しました。

そのため、どの子も元気に登校し、気持ちよく新しい年を迎えることができました。返信そして、いろいろ御協力いただき、ありがとうございました。

さて、学校は第5ステージがスタートし、新年の始まりと共に年度末に向けての締めくくりのステージとなりました。しかし、残念なことに、全国的にコロナ感染者数が大変な数となり緊急事態宣言も出され、今はさらに慎重な行動が求められています。そのため、今後も従来通りには行かない面が続くと思います。そのような中でも、子どもたちにおいては、できる限り対策を取りながら、可能な体験ができるよう努力していきたいと思います。保護者の皆様には、改めまして今年1年も、いろいろな面での御理解・御協力をお願いすることになると思います。よろしくお願ひいたします。

## 人との繋がりを大切に

過日、正門で子どもたちにあいさつをしていると、旗振りをしてくれたお母さんから「最近、旗振りをしていると登校してくる子どもたちの方からあいさつをしてくれます。やっぱりあいさつをしてもらえると嬉しいですね。」と、とても嬉しい言葉をいただくことができました。また、昨年11月実施された学校評議員会で、評価委員でもある連合町内会長の木下様から子どもたちのあいさつを褒めていただきました。

学校としても、今年度は特に生活面において「あいさつ」、「時間を守る」という二つのことに力を入れて指導してきました。私も正門に立って子どもたちのあいさつを見てきましたが、今年は気持ちの良いあいさつができる子が増えている実感があります。校内でも児童会を中心に、あいさつ運動を展開するなど、子どもたちが主体的に取り組む姿が見られました。新年になって教室を回ってみると、子どもたちが書いた新年の抱負に「あいさつがしっかりできるようにしたい」と書いている子が多くいました。子どもたち一人一人が意識をもち始めてくれていることを嬉しく思います。

現在のコロナ禍の状況だからこそ、宮竹小の子どもたちには、自分から進んであいさつができる子どもたちになって欲しいと思います。そして、人との繋がりを大切にしたいです。そのためにも、御家庭はもちろん、地域、学校が協力して子どもたちを育てていきましょう。どうぞ、よろしくお願ひいたします。

校長 山崎 元靖

